



▲小動神社 見晴し台より

⑩小動神社

鎌倉時代の初め佐々木盛綱が創建したが、建武年間新田義貞が再興したと伝えられる。祭神はタケハヤスサノオノミコトすなわち牛頭天王。荒ぶる神様だが、都市の流行病を鎮める祇園の神である。腰越が早くから都市だったことを示している。



⑪龍口寺

文永八年(1271)九月十二日の法難の史跡として日法上人によって延元二年(1337)九月に建てられた敷皮堂がはじめ。慶長六年(1601)池上本門寺の第十三世日尊上人の発願によって、小田原北条の頃の津村の地頭、その当時は帰農していた島村采女正が土地を寄進して現在の寺ができた。安政五年(1858)大阪富商鴻池家の寄進で山門を建て、明治時代になって五重塔建設にとりかかり明治43年(1910)に完成した。なお山上に建つ白亜の塔は、昭和45年(1970)建立された仏舎利の塔である。



⑫本蓮寺

寺伝によれば、推古天皇の三年(595)高麗の帰化僧惠慈の弟子、義玄が開山という伝えがあり、泰澄・弘法大師・慈恵大師等の高僧が住んだといわれている。元暦元年(1184)に源頼朝が再興して弥陀山大御堂源立寺

と改称し、真言宗に属した。ところが文永八年(1271)九月十二日に日蓮が止宿したのがもとで、弟子の日秀が改宗した。本尊は三宝諸尊・子安日蓮の像で、境内には鎌倉幕府の皇族将軍の始めの宗尊親王の歌碑や鐘楼などがある。

⑬常立寺

初めは回向山利生寺といって真言宗の寺だったといわれている。ところが永正年間(1504~1521)の頃、相州大場(庭)生まれの日豪上人がたびたび龍の口に参詣して日蓮の法話をしたため、檀家の人々も日蓮宗の信者となり、天正年間(1573~1592)に、日政上人が入山して日蓮宗の寺になる。この寺は元使塚があるのが有名。山門に入るとすぐ左に、大きな碑が建っている。大正14年(1925)9月、元使六百五十年記念のとき建てられた「誰姿森」の供養碑。その前に五輪塔があり、これは、建治元年(1275)九月七日に元の使者として日本に降伏を勧めに来て、鎌倉幕府の北条時宗の命令によって龍ノ口の刑場で首を切られた杜世忠以下五名の墓だといわれている。そのそばに、これらの人々の辞世を刻んだ碑が立っている。山門を入った右手に、穴地蔵があり、このほか、龍口寺脇から鎌倉山に通じる自動車道を造ったとき発見された板碑が数基、本堂に保存されている。



猫池由来譚

猫池が三百坪程の池だった頃、大きな蛇が住んでいた。蛇は旅人たちに悪さを働いていたため、村人は五頭龍のけん族(※つき従うもの)だと恐れて近づかなかった。ある日、大蛇が可愛い猫となって池のほとりで遊んでいた時、草刈りを終えた一人の男が一服してキセルを叩いた。すると急に空が暗くなり、先程の猫が大きな三毛猫となって睨んでいた。男は逃げて帰ったが、訳のわからない病になり死んでしまった。以来、池の主は鳥蛇だ白い蛇だと噂が飛び交い、近づく者はなかったという。ところがある年、この池を生活用水の池にする話が持ち上がり、坊主が読経を始めると間もなく、池の中から霧が立ち昇り、かすかな渦巻きの中から1尺ほどの白い蛇の死体が浮かび上がった。それからは魚が住み、たたりもなく、池水は神戸川となって津村の田畑を潤したといわれている。『鎌倉歴史文学散歩』より



江の島・鎌倉モノさんぽ

沿線歩きで、楽しさ発見!



里山と古社寺ウォーク

自然と歴史を味わおう

西鎌倉～湘南江の島

【全コース：約7km・約2.45時間 ※移動分のみ】

西鎌倉駅(猫池)▶龍口明神社▶広町緑地▶宝善院▶勸行寺▶東漸寺▶本成寺▶妙典寺▶満福寺▶滝泉寺▶小動神社▶龍口寺▶本蓮寺▶常立寺▶湘南江の島駅

ご存知ですか?

郷土の名品「片瀬独楽」

当地でよく見かけるのは「大山独楽」です。ミズキの白い木肌といい、ふっくらとした形といい実に立派な独楽です。しかし以前には当地に「片瀬独楽」が親しまれていたと聞きましたので早速心当たりを探してみました。見つかった「片瀬独楽」は独楽の本体が椿、心棒が檜でできており、なかなか風格のある独楽です。硬い木でできていますからよく回るうえに喧嘩にめっぽう強く、独楽コレクターの画家・黒崎義介氏(故人)に伺ったところによりますと、大山独楽が30銭した頃に片瀬独楽は50銭したといえます。片瀬独楽の製作者を調べてみると、小林市蔵さんという方が、現在、湘南モノレールの「湘南江の島」駅のあるあたりにあった家で足踏みロクロを使って作っていたことが判りました。この方は箱根・畑宿の出身と聞きましたので畑宿に行って聞いてみたら大正2年に片瀬に引越したということでした。箱根細工の技術と片瀬の腕白小僧たちの夢が一体となって生まれたのが「片瀬独楽」だったのですね。



江の島・鎌倉モノさんぽ 西鎌倉駅～湘南江の島駅

発行：湘南モノレール株式会社 〒248-0022鎌倉市常盤18
TEL.0467-45-3181 URL <http://www.shonan-monorail.co.jp>



- 大船
- 富士見町
- 湘南町屋
- 湘南深沢
- 西鎌倉
- 片瀬山
- 目白山下
- 湘南江の島

③ 宝善院

古義真言宗の寺で、加持山靈山寺という。723年僧泰澄が開山したといわれ、薬師如来を本尊に置いている。わき侍として十一面観音が置かれ、この観音は開山の越の大徳泰澄の持仏。もとは本龍寺から龍口寺に参詣する道筋に観音堂があり、現在の忠魂碑のある所である。



④ 勸行寺

開山は但馬阿闍梨日東上人。『風土記稿』によると、嘉元元年(1303)の開創。本尊は宗法による三宝祖師と文殊菩薩が置かれている。口碑によると文化十二年(1815)の頃近くの神戸川に毎夜怪しい光が射して、村人はこの川で溺死した女の亡霊だろうと騒いだので日如上人が毎夜経をあげて供養されると、その怪しい光は消え、まもなく神戸川の川口で漁師がこの文殊菩薩の像を釣り上げたといわれている。



⑤ 東漸寺

開山は日東上人。正中二年(1325)創建で龍口寺の輪番八ヶ寺のひとつ。本尊は三宝祖師。境内にあった諏訪神社は明治の社寺分離令により現在地(神戸)に移される。基山にはエフェドリンをはじめ生薬の多くを発見、日本薬学の基礎を築いた長井長義博士夫妻の記念碑がある。



⑥ 本成寺

龍口山本成寺という。開山は日賢上人。日賢は日蓮上人の弟子で別に淡路阿闍梨(あわじあじり)と呼ばれ、延慶二年(1309)日蓮上人入寂してから二十七年に創建。本尊は三宝祖師が置かれている。



江の島

⑨ 浄泉寺

空海を開山とする古刹。戦国時代天秀和尚によって中興され、小動神社の別当寺として栄えてきた。本尊は左手で剣を持つことから左剣不動明王とよばれる。

江の島・鎌倉モノレール 里山と古社寺 ウォーク

自然と歴史を味わう

⑦ 妙典寺

開山は、正和二年(1313)日蓮上人の弟子の天目上人によって開かれる。天目は大町に本興寺を開き、板木の佐野に妙顕寺、弘安八年(1285)南品川に妙国寺を開いた僧。奥州探題の筆名家の出自で、石堂を氏とし、通称美濃阿闍梨学僧である。



⑧ 満福寺

創建は古く奈良時代行基の開いた古刹と伝えられる。この寺の名が広く知られるようになったのは、義経の悲劇から。文治元年(1185)兄頼朝との不和により、義経一行がここに留めおかれた事件による。今も寺には弁慶筆という腰越状が残る。本堂の義経伝説の鎌倉彫襖絵は珍しい。



① 龍口明神社

鎌倉の深沢には1500年もの昔、五つの頭を持つ五頭龍が住んでいました。五頭龍は洪水を起こしたり、子どもをさらったりと悪行を重ねていた。欽明十三年(552)、天女である弁財天が天から舞い降り、五頭龍は美しい天女に恋心を抱いた。そして五頭龍は天女に諭され悪行を悔い改め、夫婦となった。天女とともに現れた島が江の島、五頭龍が姿を変えたのが龍口山だといわれている。津の人々は五頭龍の徳をたたえ、龍の口にあたる龍口寺の隣の地に社を造ってまつことにした。これが龍口明神社だといわれている。明神は永い間、龍口寺の隣地に鎮座していたが、戦後藤沢市となったので、昭和53年(1978)、龍の胴に当たる現在の地に御遷座した。現在も、日本三大弁財天として名高い江島神社と夫婦神社として人々に崇敬されている。なお移転後も、旧境内は鎌倉市津1番地として飛び地のまま残っており、社殿・鳥居なども、移転前の姿で残されている。



② 広町緑地

閑静な住宅地の真ん中にある、約48haの広大な都市緑地です。複雑に入り組む谷戸と急斜地で形成され、おき水が流れ込む湿地帯や里山風景を楽しむことができます。散策コースには相模湾や富士山を望む眺望スポットが点在している。緑地内一周の所要時間は約2時間ほど(外周路)、勾配が急な箇所もあるので散策の際には十分ご注意ください。